

日野市認知症検診 事業概要

現状

国の研究では 65 歳以上の高齢者の 4 人に 1 人は認知症又はその予備軍と推計されている。

日野市の介護認定者における認知症高齢者自立度Ⅱ以上(日常生活に支障を来すような症状・行動がある)は 4,660 人 (2019.3.31 現在) であり、高齢者人口の 10%となっている。(70 歳～79 歳は 989 人。70 歳～79 歳人口の 4.7%)
認知症状を有する疾患の中には、早期発見し、早期対応により、症状が軽減したり、進行をゆるやかにすることが可能なものもある。

認知症検診により、認知症の普及啓発を行い、早期に専門の医療機関や地域のサービスをつなげることにより、地域で安心して暮らしていけるように支援する必要がある。

目的

認知症に関する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、認知症検診を推進することにより、早期診断・対応を促進する。

事業概要

対象者 70 歳～79 歳 約 22,000 人 2021 年 4 月 1 日時点 (内、すでに「認知症」と診断を受けている方は除く)

→東京都によると、認知症の有病率が、75 歳から急激に上昇することから、認知症の早期対応につなげるため、その前段階の 70 歳から対象とする。

(有病率・東京都)65～69 歳(男性：2.8%、女性：3.8%)、70～74 歳(男性：4.9%、女性：3.9%)、75～79 歳(男性：11.7%、女性：14.4%)、80～84 歳(男性：16.8%、女性：24.2%)

- ・ 70 歳～79 歳 (約 22,000 人) (内、すでに「認知症」と診断を受けている方は除く) 個別通知 年 4 回 (4 月上旬、6 月下旬、9 月下旬、10 月下旬) 健康課健診通知と同時期に発送。
- ・ 「受診券・認知症の気づきチェックリスト」「日野市認知症検診問診票兼結果票」「認知症の受診勧奨リーフレット」(認知症の基礎知識、検診の流れ説明等)、
「実施医療機関一覧表」、「認知症ガイドブック (認知症ケアパス)」を高齡福祉課から発送。
- ・ 対象者には「認知症の気づきチェックリスト」を受診前に実施してもらい、結果が 20 点以上の方は、簡易認知機能検査の実施可能医療機関を受診する。(結果が 20 点未満及び未実施でも受診希望者は検診可)。

認知症検診実施医療機関へ

【医療機関】

- ・ 簡易認知機能検査の実施可能医療機関は、問診・簡易認知機能検査を実施する。
- ・ 検査結果を対象者に伝え、「認知症ガイドブック (認知症ケアパス)」にて説明。
- ・ 検診の実施件数・個別の結果・請求書等を市へ報告。

【認知症疾患医療センターへつなぐ】

- ・ 地域連携型である多摩平の森の病院 (認知症専門医療機関) とかかりつけ医が連携し支援を行う。

要精密検査の方

鑑別診断ができる医療機関へ

(精密検査医療機関名簿にて説明)

【検診のフォロー】

- ・ 市(認知症支援コーディネーター)は個別の結果を医療機関、地域包括支援センターと共有し支援を行う。
- ・ 情報を受けた認知症地域支援推進員等が、定期的に連絡又は訪問を実施し、必要な支援につなげる。

受診後のフォロー体制と個人情報の流れ

